

磐田を 知りたい！ 調べたい！（小・中学生向け）

磐田の学校の歴史 （遠州三大学校）

磐田市には、現在、22 校の小学校と 11 校の中学校があります。市内の多くの小学校は、明治 5（1872）年の「学制」（日本最初の近代学校制度に関する法令）の発布によってつくられた学校がもととなって、現在まで続いています。中学校の多くは、戦後の新しい教育制度によって、昭和 22（1947）年にできました。

今回は、明治初期の洋風校舎で「遠州三大学校」といわれた見付学校・坊中学校・西之島学校を中心に、磐田市の学校の歴史についての調べ方を学びます。自分の学校についても調べてみましょう。

○磐田市内の学校の歴史を調べる

明治時代から現在までの市内の小中学校の歴史は、『磐周教育の三十八年』（p. 248～262、全館所蔵）で調べられます。『解説 旧見付学校 改訂版』p. 52（全館所蔵）には、市内の小学校の開校年と開校時の学校名がのっています。また、最近の児童数、生徒数の変化や、学校の様子を調べるには、『磐田の教育』（平成 17 年度から毎年度発行、全館所蔵）を見てみましょう。その他にも、小中学校の記念誌など、下の書物から調べることができます。

●【磐田地区】

- ・『磐田市史 通史編下巻 近現代』p. 165～179（全館）
- ・『磐田市教育のあけぼの』p. 48～169（全館）
- ・『於保の学び舎』（中央・福田・竜洋・豊岡）
- ・『わが学舎 磐田市立長野小学校開校 100 周年』（中央）
- ・『わが母校 磐田市立向笠小学校 100 年記念』（中央）
- ・『磐田の近代教育』（全館）
- ・『わたしたちの磐田』p. 127～128（全館）
- ・『開校百年 磐田市立磐田南小学校』（中央）
- ・『岩田小学校事始め』（中央）
- ・『神明中学校創立当時のこぼれ話』（中央）

●【福田地区】

- ・『福田町史 通史編』p. 488～497 p. 592～605 p. 638 p. 736（全館）
- ・『福田町の歴史』p. 289～297（全館）
- ・『於保の学び舎』（中央・福田・竜洋・豊岡）
- ・『わたしたちの福田町』p. 58～59 p. 66（全館）

●【竜洋地区】

- ・『竜洋町史 通史編』p. 367～378（全館）
- ・『記念誌 竜洋西小学校移転記念』（竜洋）
- ・『創立 50 周年 竜洋中学校』（竜洋）
- ・『改訂 ふるさとりゅうよう』p. 39～50（全館）
- ・『100 周年おめでとうありがとう竜洋西小学校』（全館）
- ・『あゆみ 竜洋中学校』（中央・竜洋）

●【豊田地区】

- ・『豊田町誌 通史編』p. 801～812（全館）
- ・『ふるさと豊田 改訂版』p. 274～282（全館）

●【豊岡地区】

- ・『豊岡村史 通史編』p. 603～611（全館）
- ・『「絆」豊岡東小学校閉校記念誌』（全館）
- ・『わたしたちの豊岡』p. 64～69（全館）

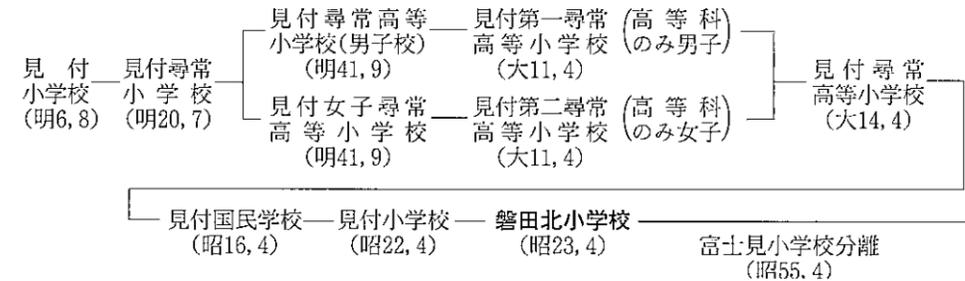
みつけがっこう 見付学校

見付学校のはじまり

遠州地方は、江戸時代から国学がさかんな土地で、国学者たちは私塾（個人運営していた教育の場）を開き、近所の子どもたちを教えていました。旧見付学校の隣にある淡海国玉神社の神官で、国学者の大久保忠尚も私塾を開いていました。旧見付学校の裏側にある磐田文庫は、忠尚が資金を集め、自身もお金を出して、私設の図書館として元治元（1864）年につくられました。磐田文庫とその蔵書は、後に見付学校に寄贈されました。

江戸時代が終わり、明治 5（1872）年、学制が発布され、見付学校が、明治 6 年 8 月に開校しました。初めは宣光寺や省光寺などを仮の校舎としていましたが、明治 8 年 8 月に新しい校舎が完成しました。見付学校の校舎をつくる際には、忠尚の門下生などが尽力し、敷地は忠尚の婿養子の久保忠利が寄付しました。見付学校の明治 7 年当時の生徒数は、男子 179 名、女子 116 名でした。

見付学校のうつりかわり（『磐周教育の三十八年』 p. 250 より）



史跡としての見付学校

見付学校の建物は、現存する日本最古の擬洋風（西洋建築に似せた）木造校舎です。改築などを行いながら、大正 11（1922）年まで小学校の校舎として使われ、その後は中学校や病院などとして利用されました。昭和 32

（1957）年に静岡県指定文化財となり、昭和 44 年、磐田文庫とともに国指定史跡となりました。そして、平成 4

（1992）年に「磐田市旧見付学校」と改称されました。

見付学校のことを調べるには

- ・『解説 旧見付学校 改訂版』（全館）
- ・『磐田の近代教育』（全館）
- ・『見付学校物語』（全館）
- ・『磐田市教育のあけぼの』（全館）



『磐田の教育』 p. 49 より

